

阿下喜駅と北勢線



調べたきっかけ

阿下喜駅はこの阿下喜に結構昔からあって、阿下喜駅についての歴史について気になったから。

どうやって調査したか

Sくんのお爺さんと阿下喜駅に来てくださった駅員のOさんにインタビューに行って調査しました。

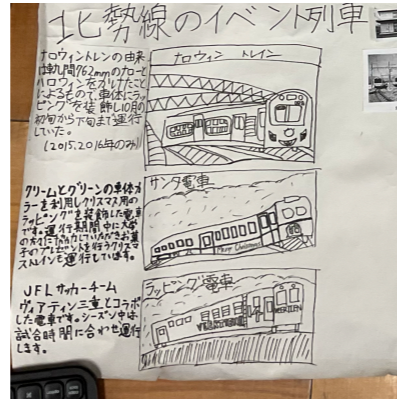


北勢線の歴史1

- 明治45年（1912）北勢鉄道株式会社として設立される
- 大正3年（1914）大山田（現在の西桑名）－楚原間14.5kmが開業
- 大正4年（1915）桑名町（後の桑名京橋）－大山田間0.7kmが開業
- 大正5年（1916）楚原－阿下喜東（後の六石）間4.6kmが開業
- 昭和6年（1931）六石－阿下喜間1.4kmが開業
- 昭和9年（1934）北勢鉄道が北勢電気鉄道に社名変更
- 昭和19年（1944）北勢電気鉄道ほか6社が合併し、三重交通が発足
- 昭和28年（1953）桑名京橋駅付近に北勢線初の自動踏切警報機を設置
- 昭和29年（1954）架線電圧を600Vから750Vに昇圧
- 昭和39年（1964）三重交通が鉄道事業を三重電気鉄道に分離譲渡し三重電気鉄道設立
- 昭和40年（1965）近畿日本鉄道が三重電気鉄道を合併
- 平成4年（1992）ワンマン運転開始（3両編成のみ）

北勢線の歴史2

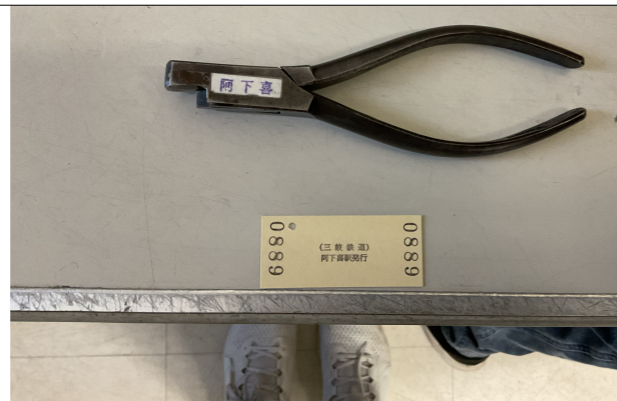
- 平成12年（2000）近鉄が営業改善のため北勢線の廃線を表明
- 平成14年（2002）北勢線沿線市町が三岐鉄道に対し正式に北勢線運行を依頼→北勢線対策室が設置される→三岐鉄道による北勢線の運営が開始される→ワンマン運転開始（4両編成）
- 平成15年（2003）三岐鉄道北勢線運行開始 リニューアル事業開始（車両の高速化、冷房化、駅務機器の自動化、駅の統廃合、施設、設備の増強）
- 平成17年（2005）北勢線車両の高速化改造開始
- 平成18年（2006）冷房電車運行開始
- 平成22年（2010）サンタ電車運行開始
- 平成25年（2013）北勢線開業100周年
- 平成27年（2015）ナロウイントレイン運行開始
- 令和1年（2019）鉄道むすめ楚原れんげデビュー
- 令和4年（2022）VEERTIEN TRAIN 運行開始
- 令和7年（2025）駅務機器のIC化



インタビューで分かったこと

北勢線の車両は、減った。
 昔と今では、乗る人がとても減った。
 阿下喜駅の場所は変わらない。
 昔は切符は手で打っていた。
 北勢線のスピードは、変わらない（45km）
 昔は泊まって勤務していた。
 昔は3両だった。

阿下喜駅のもの



（阿下喜駅に保管されている物）

クイズ 1問目

阿下喜駅はいつからあったのでしょうか？

- 1.1931年 2.1945年 3.2001年

答え

1の「1931年」

六石が開通された1916年から15年後に完成しました。

北勢線のスピードは？

クイズ 二問目 ヒントは、車より遅いです。

1.時速50km 2. 時速200km 3. 時速45km

答え



3の「時速45km」

崖が多くて、線路の幅が狭いので、スピードを出しすぎると脱線するので、時速45kmで走っているそうです。

これで終わります